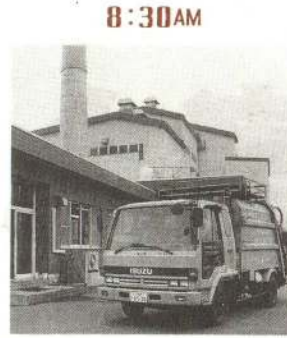


追跡! ごみ収集車

10月15日(木) 晴れ
収集車追跡に出発



8:30AM

入れ物はさまざま



8:40AM

これは収集日が違う!



9:00AM

ごみ収集には

苦勞がいつばい

市では現在、十台のごみ収集車を用意して、市内に千二百ほどあるごみ一時預かり所を回り、各家庭から出されたごみを収集しています。皆さんの家庭に配布されている収集区分表で分かる通り、市内全町内を曜日別で八つに区分けし、月曜日から土曜日までの毎日、いずれかの区域を回っているわけです。

まず。そしてやっぱり、残念ながら収集日が違う燃やせないごみが無造作に投げ置かれている所もありました。

十月十五日木曜日、十台の収集車のうちの一台を追ってみました。この車は第二区担当。この日はちょうど、分別収集のモデル町内、通町を回ります。

午前八時三十分、燃えるごみを収集すべく第一環境センターを出発。車には運転手一人と助手二人の計三人が乗っています。一カ所、二カ所と預かり所を回っていきませんが、預かり所間の距離は約五十〜六十メートル。市街地だったせいなのでしょうが、降りては積み、積んでは乗るの繰り返しは、見ているだけで疲れてきます。

さて、出されていたごみの状態はどうかというと、おなじみの黒い袋に入ったものあり、買物袋あり、ダンボール箱があり、いろいろな物に入れられて

こまめに収集を続けて車は通町へ。白っぽい袋が目に入ります。なるほどこうなるのかと感心するほど、指定ごみ袋が整然と並べられていました。入れ物が同じという利点でしょうか。

分別で示して あなたの優しさ

午前十時四十分、いつもより早く満杯になった収集車は、一度センターへ戻り、ごみを空けてまた市内へ走り出しました。

一台の収集車が一日に回れるごみ一時預かり所の数は五十〜六十ほど。二、三カ所を積める車ですが、十二、三カ所も回ると満杯になってしまいます。これはもちろん量にもよりますが、ごみの入れ物がまちまちで、体積が大きくなるせいでもあるという事です。モデル町内のように同じ袋なら、積める量が増えるし、作業しやすいとのこと。

また、収集している途中、袋の口がしっかり結ばれていない

中身が散乱してしまうものがありました。するといちいち拾い集めなければなりません。皆さんの預かり所を回らなければならぬのに、余計な時間が費やされます。そして、収集にあたっては、水切りされずに出されるのは、水切りされずに出される生ごみへの苦情でした。一向になくならないと、半ばあきれ顔です。確かに、追跡中も汚水がびゅうと袋から噴き出し、それをうつつかり体にかけると、皮膚が痛くなったりかゆくなったりするから気を付けるよう言われました。悪臭はしょうがないとしても、この汚水だけは出ないように各家庭で十分注意しなければなりません。

分別の徹底を!



生ごみはよく水切りして!!
リサイクルも忘れずに!!

めんどうかね 水切りするの



収集している
石山豊弘さん

燃やせるごみと燃やせないごみが混ざって、しかも乱雑に置かれてるっていうのは、私ら仕事がかたくないくいし、だれが見てもいいもんじゃありません。モデル町内では袋が同じだから整理されますけど、あの袋一杯のごみになると、今度は重くて大変かなと思いますよ。(笑)

収集が一番困るのは、水切りされてない生ごみ。圧縮されると汚水が噴き出してきて、あれ浴びるともう大変なんです。面倒なんだと思いますけど、水切りはしっかりとしてほしいですね。

町内の一時預かり所が分からなかったり、収集時刻に間に合わなかったりした場合は、直接センター(沼館)へお持ちになってください。